

自遊塾 倶楽部広報紙 井戸端通信

Vol. 52

発行 令和4年2月25日

〒930-0096

富山県富山市舟橋北町7-1

富山県生涯学習カレッジ

TEL. 076-441-8401

自遊塾で

「わくわく・ドキドキ」

副塾長 経田 博子

こんなにも遊び心が制限された自遊塾は初めて。それだけに、制限の中でどのように柔軟に対応し工夫し、学びを遊ぶかが問われた年でした。「学び」は「わくわく・ドキドキ」が加わるから、もっと楽しくなるし、また、楽しみながらの学びは続けていく力になります。自分自身が、わくわくとドキドキをこれだけ皆さんと一緒に感じる事ができるが、来年度に向けて嬉しい課題をもらいました。

人生にいろいろな課題がありますが、それに向かっていくエネルギーを、人との交流の中で感じています。それが、自分自身への贈り物。ありがたい時間を自遊塾でいただき感謝しています。ぜひ、来年度も一緒にしましょう。



U1746 こころの栄養 自己肯定感の高め方 講座風景

あなたも塾生に

そして県民教授に

今年度の自遊塾は、全八十講座を開講。個性あふれるボランティアの県民教授と県民教授会活動が、皆さんの学びを楽しく支えました。

ボランティア県民教授はこんな人皆さんとともに学ぶことで、大きな力をいただいているボランティアが、県民教授です。自遊塾の運営組織である県民教授会は、各部会活動を行っています。多くの方が塾生からボランティア県民教授になっています。

塾生同士の仲間へ

塾生同士の交流を通じて仲間を広げましょう。

自遊塾からの社会的起業

とやまの大きな成果

自遊塾をきっかけに、新たなNPOが生まれ、活発に活動するなど、社会的に大きな成果があり、全国で高く評価されています。

自遊塾は
次年度 28 年目
全国初 県民が教える
学習活動です

詳しくは下記に
アクセス下さい!



令和三年度「学遊祭」について

今年度の学遊祭は、新型コロナウイルス感染症の県内拡大により、当初予定していた、自遊塾の講座の発表を中止し、四団体の作品展示のみを行いました。

新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、今後、新たな発表の場を模索していくことが必要だと考えております。



学遊祭展示風景



読み聞かせ・朗読講座を受講して

塾生 四宮 裕子

以前から受講してみたいと思っていた講座に今年初めてチャレンジしました。講師は長年にわたり読み聞かせの実績がある立田ひろみ先生です。

声の出し方、イントネーション、間の取り方に気をつけ、相手が聞き取りやすいようにとの先生の的確な指導の下、私たち十人余りの受講生は毎回楽しい時間を共有させていただきました。

また、第二回目はフロアの朗読家、鈴木裕子先生を招いての朗読会が催されました。情景が目の前に浮かび胸に迫るものがあり「さすがフロだなあ」と感嘆するところでした。

短い期間ではありましたが、読み聞かせ・朗読の奥深さ、楽しさを再認識し益々のめりこんでしまいたいと思います。



U1762 読み聞かせ・朗読 講座風景

時代の架け橋

塾生 野上 美子

会館の五階にある大きな部屋、少し重たい扉を開けてください。私が塾生として第一歩を踏み出した場所です。大好きな映画の映像と共にエンニオモリコーネの曲が室内を包み込んでいます。

一瞬にしてこの講座の虜になってしまいました。今に至っています。講師の木田先生は豊富な知識をユーモア交えて楽しく説明してくださる素敵な方です。塾生の方の発表もあり、曲の歴史など多くのことを学ばせてもらっています。青春時代に胸がキュンとなった曲も今は深みが増し、それがまた新鮮に感じるので。

終了後、会館からバス停までは、その日に聴いた曲を口ずさみ、時にはステップを加え私だけのショータイムの時間です。こんな気分にしてくれるのがポップスジュークボックスなのです。



U1781 ポップスジュークボックス 2021 ♪ 講座風景

韓国にわたし

塾生 約ひかる

自遊塾に出会ったきっかけは、母の勧めであった。私自身は学生時代に語学研修のために韓国の首都であるソウルに滞在していた経験がある。その際に、韓国語や韓国の文化、たくさん韓国人の友人に触れあった。日本にいる間も何か韓国に関わる知識を増やしたいと思い、数年間に渡って「歌と文化で学ぶ韓国人」の講座に参加している。

講座では、講師の先生の実体験に基づいた内容のお話が多く、私自身も韓国に滞在していた経験から、先生のお話や価値観に共感する部分が多くある。

塾生の講座への参加目的は様々であるが、そのような方々とコミュニケーションをとることで、毎回新しい発見や気づきを得ることができたり、大変有意義な時間を過ごすことができたり。講師の先生をはじめ関係者の方々に感謝しております。さらにティープな韓国に出逢ってみたいという方にこちらの講座の受講をお勧めいたします。



U1779 歌と文化で学ぶ韓国・韓国人 講座風景

土人形への楽しさを地域へ

塾生 岡島 明子

江戸時代から続く伝統土人形玩具「やま土人形」の講座を、毎年受講して楽しんでいる一人です。

型に粘土を詰めて形を作ることから作品作りが始まります。それを先生に焼いていただき、それぞれの想いで土人形に絵付けをします。作る喜び・飾る喜びを味わいながら、みんなと楽しく活動しています。

その楽しさを、多くの方に味わってほしいとの思いから、先生に透形をお願いし、昨年度から地域の婦人部でも土人形の絵付けを行っています。

ものづくりを通して多くの人と出会い、交流の輪が広がる喜びを感じている今この頃です。



U1771 土人形のぬくもりに触れ、自分でもつくってみよう 講座風景

部会だより 県民教授による山遊塾運動部活動を紹介します。

成果を生かして来年はリベンジ！ 交流・研修部会 部長 青海燕燕

① 砺波地区交流会（開催）
七月三日 砺波散居村ミュージアム
参加者 九名
三三三講座 鈴木さん、沼田さん
経田さんを始め、ベテランの砺波地区のメンバーは例年開催の経験を生かして、万全な感染症対策と自己紹介に代わるチラシや名刺の持参等工夫して、スムーズに行われました。三三三講座から元気をいただいた上に、加賀谷さんのオンラインピクトーチの登場で、さらに盛り上がりしました。



砺波地区交流会



新川地区交流会



② 富山地区交流会（中止）
九月十八日 アイザックススポーツドーム
予定参加者 十三名
三三三講座 野島さん、岡屋さん、早川さん
コロナ感染状況が予測できず、ドーム型半屋外の会場を選びました。感染警報ステーションに従って開催会場が休館により、中止されました。残念ですが、たくさんの方の関心が集まり応援していただいていた感謝しております。来年リベンジしたいです。

③ 新川地区交流会（開催）
十月十日 滑川市民交流フーズ
参加者 七名
三三三講座 佐藤さん、澤田さん
室内の交流会の後、散策しながら三三三講座を同時に二つ実施しました。参加者七人でコンパクトで質的な時間でした。

④ 高岡地区交流会（中止）
十一月七日（日）は、富山マラソン開催日で、交流会の場所としていた高岡古城公園がスタート地点の近辺となりました。交通規制がしかれたため、今回は交流会を行うことを断念いたしました。情報収集などが足らず、今回中止となったことをお詫び申し上げます。

室内で元気をいっぱい頂いた砺波地区の交流会、お天気に恵まれて散策しながらの新川地区の交流会、参加者全員大変喜んでいました。その喜びは県民教授全員に伝えたいです。写真では雰囲気しか伝わりませんが、ぜひ来年は皆さんにも参加していただき、喜びを分かち合いたいです。

ひと目かわかる

出前講座一覽表をつくろう！

出前部会 部長 平田 清志

三年前、出前部員だけの「ひと目かわかる出前講座一覽表」を作った。昨年はコロナ禍で自遊塾は講座回数が減り、部会も中止。今年度は制約がありながらも自遊塾が開講し、部会も再開した。

部会で話し合い全県民教授に出前講座開設の可否を尋ねることになる。その結果、三十三名から「可」の回答を得、「富山県民生涯学習カレッジ自遊塾出前講座一覽表」を作成した。合わせて、申し込み手順・留意事項等を討議し、それを配布する方法として、四地区の責任者を決めた。そんな矢先、新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るい、二カ月間、自遊塾は休講となった。再開後、チラシを配布したところ、すぐに「出前講座実施の報告が入る」。その後、何件か出前講座に関する問い合わせがあった。

次年度は、今年度の活動を踏まえ、出前講座開催を支援しよう！

部会だより

広報部会、交流・研修部会、出前部会を設けています。詳細は第五十一号で広報部会だよりは、次頁編集後記で！

学習活動は？ そして 成果は？

「俳句を作る 富山を詠る」 塾生作品

更衣二の腕にきく風の声
申古書の真綿欄に丸文化の日
声高し葦の花揺む老四人
瑞泉寺裏の河骨静かなり
雷鳥育つ兄妹ヨチヨチと
トロッ「行くもみじ赤黄」にかけ抜ける
聞き直す友の訃報よいわし雲
綿虫や此処より通行止めとなる
少年のスケボー跳ねて後の月
百日紅墓石の文字のほやけよう
顔中が晴となる燕の子
雨ふれと雨も明るし立葉
秋つらら赤灯台に竿一本
白日傘軒の反りたる大伽藍
野仏の多き南極路踏音る
梅雨明けんからりと晴るるゲリラ雨
エフロンにいつもの狭瓜畑
夏帽子足湯の先の日本海
炎屋の閻魔堂より見透かす自
浜屋敷有磯の海の様やかに
雨止みて澄え渡りたる溜璃の声
透き通る鈴虫の音や露大風出

庚子

好美

昌子

久仁子

佳輝

範明

晶子

朋子

多喜子

朝子

瑞代

「心豊かにとよまの詩歌」 塾生他の作品

「コロナ禍とオリンピックなど時事のほか、
生活を見つめる歌も詠まれました。」
多事争論 梅雨にけむるや五輪の輪
想いさまぬま聖火はつなく
梅雨オーケストラ・アカデミー 二年ぶりのコンサート
高鳴りし拍手は止まず
一会なる 未来に挑む者へのはなむけ
若葉風をまとひてスクールバスはゆく
朝の車列の一台となり
刻々と海と空の色変わりたる
日の出迎えるひすい海岸

信雄

晶

律子

律子



U1736 脳いきいきほんわかアート (新川)



U1735 漢字の寺子屋



U1814 立山信仰の歴史における岩崎寺の
仕事と歴史遺産



U1807 ミニSL を楽しもう



自遊塾の取材風景

来期への期待

編集後記 広報部長 木下晶

「ニューノーマルをめぐって」

「コロナ禍も三年目ともなると、流石につきあい方も分かってきました。令和三年度は、前期・後期の講座も行うことができました。令和四年度こそは、講座を通して交流をいっそう深めたいですね。」

広報部会は、大きな転機を迎えました。目的に応じ効果的メディアミックス

令和三年度から年一回発行とし、今回は、後期の誌面をお届けします。QRを用い、紙面とWEBによるメディアミックスで、効果的な情報提供を図りました。紙面づくりも、メール入稿とワープロソフトで、効率的に行うことができました。持続可能な社会づくりをめざして

「コロナ禍の収束後も、将来のパンデミックや地域的大災害時に対応できる、持続可能な社会に向けて、ニューノーマルが求められています。」

皆さんのご意見をお寄せいただき、より良い紙面づくりに努めたいと考えています。

「井戸端通信」
バックナンバーは
こちらから ↓

